

発刊にあたって

平成21年8月9日、台風9号の影響による集中豪雨により佐用町で大規模な洪水、土砂災害が発生し、20人の尊い命が奪われ、住家や田畑などにも大きな被害をもたらしました。

決して忘れることのできない出来事、犠牲になられた皆さまの無念の思い、町民すべての方の思い、この悲しみを二度と繰り返さないため、「災害に強いまちづくり」を進めることが最大の使命であると考えております。

また、近年は地球温暖化の影響により、想像を超える降雨による土砂災害や浸水害、そして突然起こる大地震など全国各地で災害が発生しています。

自然災害を無くすことはできませんが、被害を最小限にとどめることはできます。

日本各地で発生しているさまざまな災害被害を「わがこと」としてとらえ、「自助」「共助」「公助」の考えのもと、「自分の命は自分で守る」「自分たちの地域は自分たちで守る」町民と町が、一丸となって知恵を出し努力することで、より一層安心して暮らせるまちになると確信しています。

この度、この防災マップを作成した経緯は、まずは自分の住んでいる地域の危険性を知ること、そしてその危険性に対してどう対処していくかを自ら考え、地域で共有し支え合うことなどを、平時から備えていただくために作成いたしました。

今後も、地域のコミュニティを今まで以上に大切にし、地域が個人の自立を成就していく様に、将来の佐用町を支える人々の「郷土愛」を育んでもらいたいと思っております。

平成21年佐用町で発生した災害、失ったものは果てしなく大きいですが、地域に根ざす本来からの「助け合う心」を再確認できたこと、また全国各地からの支援や声援などにより、新たな「絆」を結ぶことができたこと、これらを大切にし今後の佐用町の発展のため、未来に向けて一步一步進んでいきます。

佐用町長 庵 途 典 章

